

電

車が駆け抜けた跡を辿る
 法勝寺電車廃線ウォーク



三崎の切り割を歩く参加者

法勝寺電車の廃線跡をたどる『法勝寺電車廃線ウォーク』が10月5日、約120名が参加して行われました。

このイベントは「とっとり文化遺産魅力発掘プロジェクト実行委員会（米子市・南部町ほか関係団体が参加）が行ったもので、米子市道笑町の旧米子市駅跡から、旧法勝寺駅（現在の西伯郵便局）までの12.4kmを歩きました。参加者は「母が行商でこの電車を利用していたと聞いていたので、母の供養のつもりで参加した」など、法勝寺電車への思い出を語り合いながら歩いていました。

この日は、参加賞として復刻された「法勝寺ゆき」の記念切符が配布されたり、当時実際に使用されていた駅長印（板祐生出会いの館所蔵県指定文化財）を再現したものをイラストマップに押しもらえるなど、鉄道ファンにとっても魅力のあるイベントとなりました。

再

生可能エネルギーの柱に
 太陽光発電施設起工式

10月7日、南部町鶴田地内において、「南部町大規模太陽光発電施設設置工事」の起工式が執り行われました。当日は台風の影響が心配されましたが、夏日を思わせる太陽のもと坂本町長をはじめ、関係者約30人が工事の安全を祈願しました。この施設は、自治体運営の太陽光発電所では山陰最大規模のものです。

施工は美保テクノス㈱が担当し、京セラ製のパネル6300枚を設置します。最大出力は15メガワット（一般家庭約350世帯分）、年間売電収入は約6千万円を見込んでいます。総工費は5億4千万円で来春の稼働を目指します。坂本町長は「長きにわたり町民へ恩恵をもたらし、地域活性化の拠点としたい。」と話しています。



起工式の様子

弥

生・古墳時代に思いを馳せて
 まんてん道場で遺跡調査報告



右の女性が濱野主任調査員

10月8日、南部町公民館で第2回まんてん道場が開催されました。今回は、国道180号バイパスの工事に伴って行われた境矢石遺跡他5ヶ所の遺跡についての調査報告を、米子市埋蔵文化財調査室の濱野浩美主任調査員に行っていたいただきました。

濱野主任調査員はプロジェクトを使って、発掘調査の様子や検出された遺構などについて話されたあと、会場に展示された出土遺物について丁寧に説明していただきました。このなかで最も目を引いたのは山陰甗型土器で、「境矢石遺跡では棺として使われており、このような出土例は全国でも他に例がない」との説明に、参加者から驚きの歓声があがりました。

ス

ポーツの秋満喫
 緑水湖健康マラソン大会

第26回南部町緑水湖健康マラソン大会が10月20日、緑水湖周辺で行われました。県内外から約685人が出場し、豊かな自然を駆け抜けました。

時折小雨の降る中、午前10時30分から5キロ、10キロ、ウォーキングと順にスタート。沿道で家族や仲間に応援されながら、入賞や自己記録更新を狙う人、マイペースに歩く人など、思い思いにレースを楽しみました。米子市から友達と参加した小学生は「初めて15キロ走るので、ちよつとドキドキするけど頑張ります」と意気込みを話しました。



雨の中での力走、お疲れ様でした